

## 様式第 2 (第12条関係)

## 加入国際学術団体に関する調査票

## 1 国際学術団体活動状況 (内規第 11 条 活動報告)

団体名	和	国際生化学・分子生物学連合
	英	International Union of Biochemistry and Molecular Biology (略称: IUBMB)
	団体 HP (URL)	http://www.iubmb.org (日本学術会議が加盟していることの記載 <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無)
国際学術団体における最近のトピックについて (学術の進歩、当該団体の推進体制の変化、国際機関・政府・社会との関わり方等)	3年に一度の IUBMB Congress が、2015年8月に約2,800人の参加者を集めブラジルにおいて開催され、IUBMB の前期(2012-2015)活動内容が前会長の Greg Petsko 氏 (米国) より総括された。重要な点として、これまで加盟してきた ICSU (The International Council for Science) の活動状況を鑑み、IUBMB として年会費に相応の価値を見いだせないため 2014年に脱会したこと、また再加入の是非については今後の ICSU 活動を注意深く見守って決定することが報告された。さらに、今期(2015-2018)推進体制について現会長の Joan Guinovart 氏 (スペイン) より所信表明がされた (詳細は添付資料 1 参照)。また、次期(2018-2031)会長には、Andrew H.-J. Wang 氏 (台湾) が選出された。その他の選挙結果は添付資料 2 参照。	
政策提言や世界の潮流になりそうな研究テーマ・研究方式・研究助成方式等について	IUBMB は、分子生命科学分野における世界的な活動の相互作用を促進し、倫理、文化、性、貧困等の壁を超越したネットワークを形成するとともに、若手科学者の育成ならびに可能性を引き出し、エビデンスに基づく公共政策提言を行って、世界中すべての国における科学者の自由な活動と科学的価値、基準、倫理の創造に寄与することをミッションとして掲げている。その活動範囲は極めて広くかつ活発であり、2010年以來、IBRO (International Brain Research Organization)、IUBS (International Union of Biological Sciences)、IUFoST (International Union of Food Science and Technology)、IUIS (International Union of Immunological Societies)、IUMS (International Union of Microbiological Societies)、IUNS (International Union of Nutritional Sciences)、IUPAB (International Union for Pure and Applied Biophysics)、IUPESM (International Union for Physical and Engineering Sciences in Medicine)、IUPHAR (International Union of Basic and Clinical Pharmacology)、IUPS (International Union of Physiological Sciences) とともに、バイオ関連の世界 11 団体からなる Bio-Unions を形成して生命科学領域における世界的潮流の形成ならびに政策提言に参画している。	
日本人役員によるイニシアティブ事項や日本からの参加によって進展や成果があったもの	IUBMB Congress ブラジル大会 (2015年8月24日~8月28日) に、当 IUBMB 分科会副委員長の中野明彦氏が参加し、シンポジウム “Spatial Distribution of Cellular Processes” で研究発表を行った。また、また中野氏は IUBMB 今期(2015-2018)執行部候補の可否投票および次期(2018-2031)の執行部候補の決定に関わる Nominating Committee の選出に加わるとともに、中野氏自身が今期	

## 様式第 2 (第12条関係)

について	の auditor(監事/監査役)に選出された。
加入していること による日本学術会 議、学会、日本国民 への効果やメリッ トについて	<p>生命科学分野における世界最大の学術連合として、生命倫理ならびに研究倫理等の規定をはじめする様々な世界標準を発信する極めて重要な組織であり、国内における同様の責務を担う日本学術会議が参画することによって、世界の動向をいち早く察知することが出来ると共に、日本独自の状況を反映した日本発の提言ならびに意見形成を可能とする。</p> <p>また、学術会議が参画することによって、2006年には第20回 IUBMB Congress を招致することが実現し、京都において日本生化学会ならびに日本分子生物学会との合同学術大会として開催され、海外からの参加者 1082 名を含む計 9200 人を超える参加者を集め、極めて大きな成功を収めた。その成果の学術的価値はもちろんのこと、IUBMB Congress 誘致による経済効果は元より、生命科学分野における日本のプレゼンスを示す機会を持続的に維持することで、生命科学分野における日本人ノーベル賞受賞の下地作りにも寄与しており、費用対効果の観点から見ても、日本国民にとって極めて大きなメリットをもたらすものと考えられる。</p>
その他（若手研究者・女性研究者育成法、科学者の倫理に関する当該国際学術団体の基本方針や憲章、資金提供ソースの発掘における画期的な方策等の特記事項など）	<p>IUBMB はシンポジウム、コース、研究室ワークショップなどに対する Funding 支援を通じ、多岐に亘る若手教育ならびに若手研究者支援活動を行っており、特に開発途上国の生命科学者や教員に対しては、生化学や分子生物学の教科書並びにレビュー誌なども無料配布している。下記に、その根拠となる若手研究者育成をはじめとする重点支援活動関連 URL の一例を示す。</p> <p><a href="http://iubmb.org/activities/educational-activities/">http://iubmb.org/activities/educational-activities/</a>  <a href="http://iubmb.org/activities/young-scientists-support/wood-whe-lan-research-fellowships/">http://iubmb.org/activities/young-scientists-support/wood-whe-lan-research-fellowships/</a></p>

## 2 今後の予定について (内規第 11 条 活動報告)

総会、理事会の日本開催の予定について（招致等の予定も含め）	2024 年もしくは 2027 年の IUBMB Congress の日本開催招致に向けて検討中。
日本人の役員立候補等の予定について	2018 年ソウルでの IUBMB Congress において、現・中野明彦 IUBMB 監事に加えて、さらなる役員候補者の推挙について検討中。
現在、検討中の日本からの提言や推進するプロジェクト等の動きについて	2017 年に開催予定の日本生化学会ならびに日本分子生物学会の合同大会(ConBio2017)は、日本の福井清氏が会長を務める FAOBMB-Federation of National Societies of Biochemistry and Molecular Biology との共催とすることが決定しており、具体的な開催方針（日本学術会議への支援要請の有無を含む）について現在組織委員会にて検討中。

## 様式第2 (第12条関係)

## 3 国際学術団体会議開催状況 (内規第11条 活動報告)

総会・理事会・各種委員会等の状況 (過去5年間及び今後予定されているもの)	総会開催状況	2012年(開催地:スペイン・セビリヤ)、 2015年(開催地:ブラジル・フォスドイグアス)、 2018年(開催地:韓国・ソウル)、 2021年(開催地:ポルトガル・リスボン)		
	理事会・役員会等開催状況	2012年(開催地:スペイン・セビリヤ)、 2015年(開催地:ブラジル・フォスドイグアス)、 2018年(開催地:韓国・ソウル)、 2021年(開催地:ポルトガル・リスボン)		
	各種委員会開催状況	年(開催地: )、 年(開催地: )、 年(開催地: )、 年(開催地: )、 年(開催地: )、 年(開催地: )、 年(開催地: )、 年(開催地: )、 年(開催地: )、 年(開催地: )		
	研究集会・会議等開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Congresses including a Young Scientists Program Spain, 2012 &amp; Brazil, 2015</li> <li>• Conferences with/without a Young Scientists Forum Australia, 2010; Mexico, 2011; Morocco, 2013 &amp; Taiwan, 2014</li> <li>• New activity: Advanced Schools China, 2011; S. Africa, 2012; China, 2012; Greece, 2012; Iran, 2013; China, 2013; Greece, 2013; Greece, 2014; India, 2014; S. Africa, 2015; Cuba, 2015 &amp; Uruguay, 2015</li> </ul>		
上記会議等への日本人の参加・出席状況及び予定	2012年 IUBMB Congress (開催地:スペイン・セビリヤ) 2人 2015年 IUBMB Congress (開催地:ブラジル・フォスドイグアス) 4人			
国際学術団体における日本人の役員等への就任状況 (過去5年)	役職名	役職就任期間	氏名	会員、連携会員の別
	Auditor (監事)	2015~2018	中野明彦	(第22期) <u>会員</u> ・連携
		~		( ) 期) 会員・連携
		~		( ) 期) 会員・連携
		~		( ) 期) 会員・連携
		~		( ) 期) 会員・連携
		~		( ) 期) 会員・連携
出版物	1 定期的 主な出版物名 Biochemistry and Molecular Biology Education BioFactors Biotechnology and Applied Biochemistry IUBMB Life			

## 様式第2 (第12条関係)

	IUBMB Nicholson Metabolic Maps Molecular Aspects of Medicine Standards for the Doctoral Degrees Trends in Biochemical Sciences
活動状況が分かる年次報告等があれば添付又は URL を記載 <a href="http://iubmb.org/activities/">http://iubmb.org/activities/</a> <a href="http://iubmb.org/activities/annual-reports/">http://iubmb.org/activities/annual-reports/</a>	

## 様式第2 (第12条関係)

## 4 国際学術団体に関する基礎的事項 (内規第3条、4条、5条)

国内委員会 (内規4条第3号)	委員会名	基礎医学委員会 IUBMB 分科会
	委員長名	一條秀憲
	当期の活動状況	(開催日時 主な審議事項等) 第23期・第1回 開催日時: 平成27年3月23日(月) 主な審議事項 (1) 役員(委員長、副委員長、幹事)の選出 (2) 2015年IUBMBブラジル大会への派遣者の決定 第23期・第2回 開催日時: 平成27年12月4日(金) 主な審議事項 (1) 2015年IUBMBブラジル大会参加報告(資料添付) (2) 今後の活動方針について
内規第3 (国際学術団体の要件関係)	国際学術交流を目的とする非政府的かつ非営利的団体である ① 該当する 2. 該当しない ※根拠となる定款・規程等の添付又はURLを記載 <a href="http://iubmb.org/about-iubmb/mission/">http://iubmb.org/about-iubmb/mission/</a>	
	各国の公的学術機関及び学術研究団体等が国際学術団体に国を代表する資格を有して加入するものが、主たる構成員となっている(主たる構成員が、いわゆる「国家会員」であるか否か) ① 該当する 2. 該当しない ※根拠となる資料の添付又はURLを記載	
	下記の事項(ア～エ)のいずれか一つに該当するか(該当するものに○印)	
	ア 個々の学術の専門分野における統一のかつ世界的な組織を有するもの	
	イ 研究の領域が複数の専門分野にわたるものであって、統一のかつ世界的な組織を有するもの	
	ウ 研究の領域が複数の専門分野にわたるものであって、ア又はイの国際学術団体を連合した世界的組織を有するもの	
	エ 構成員のうち、各国代表会員がアジア地域等我が国が関係する地域等に限られるものであって、当該国際学術団体の研究の領域が複数の専門分野にわたるもの	
10ヶ国を超える各国代表会員が加入している ① 該当する 2. 該当しない		
加入国数及び 主要な各国代表会員を 10記載	( 77 ヶ国) ・各国代表会員名/国名 President Prof. Joan J. Guinovart, Spain	

## 様式第2 (第12条関係)

		<p>President-Elect Prof. Andrew H.-J. Wang, Taiwan</p> <p>Past-President Prof. Gregory A. Petsko, USA</p> <p>General Secretary Prof. Michael P. Walsh, Canada</p> <p>Treasurer Prof. Francesco Bonomi, Italy</p> <p>Member for Publications Prof. Avadhesh Surolia, India</p> <p>Chairman of the IUBMB Committee on Symposia Prof. M. Iqbal Parker, South Africa</p> <p>Chair of the Committee for Congresses and Focused Meetings Dr. Efsthios S. Gonos, Greece</p> <p>Chair of the Committee for Education and Training Prof. Janet Macaulay, Australia</p> <p>Chair of the Nominating Committee Prof. Irene Diaz-Moreno, Spain</p>
--	--	---